

京都漢方研究会 第36期講座カリキュラム(予定)
(2026年4月～2027年3月)

日本生薬学会 共催予定

日程	第1講 10:00～11:40	第2講 12:30～14:10	第3講(臨床) 14:20～16:00
4月19日 (第3日曜日)	11:00～12:00 総会	特別講演 フクロウ型の多彩な病態と 漢方治療の実際(仮) 恵紙英昭先生	特別講演 切れ味の悪いエクス剤の理 由と対策の考察 鹿野美弘先生
5月10日 (第2日曜日)	肝のはたらき 関田倫彦先生	セルフメディケーション領 域の漢方 -腰痛- 高橋宏和先生	蔵府経絡から見た症 例提示 夜久 公也先生
6月 (第日曜日)	野外研修:日本新薬・山科植物資料館		
7月12日 (第2日曜日)	心・肺のはたらき 松井満生先生	薬用植物園の活動に関す る話題提供 月岡淳子先生	チーム医療でがん患者さん を元気にする!～漢方サポ ート療法(仮) 浅羽宏一先生
8月9日 (第2日曜日)	腎のはたらき 清水 涼先生	セルフメディケーション領 域の漢方 -にきび- 高橋宏和先生	消化器疾患領域の漢方治 療(3)(仮) 坂田雅浩先生
9月13日 (第2日曜日)	脾のはたらき 高橋宏和先生	生薬の選品と鑑別 宮嶋雅也先生	心不全パンデミックと漢方 山崎武俊先生
10月18日 (第3日曜日)	気虚と五臓 関田倫彦先生	世界の中での漢方薬～中 医学の国際標準化の動きと それに対する日本の対応 牧野利明先生	補気剤・理気剤の症例報告 鉄村 努先生
11月22～ 23日 (第4日曜・祭 日)	第59会日本漢方交流会 全国学術総会(京都大会)		
12月20日 (第3日曜日)	気滞と五臓 松井満生先生	生薬の選品と流通(仮) 細貝 聡先生	新薬による治療全盛時代の 皮膚疾患に対する漢方治療 の意義 夏秋 優先生
1月10日 (第2日曜日)	血虚と五臓 酒井孝征先生	生薬の薬能と処方解説(3) 高橋宏和先生	情報収集から治療へ、経絡の 知識からも処方を考える(3) 竹本喜典先生
2月14日 (第2日曜日)	血瘀と五臓 清水 涼先生	生薬の薬能と処方解説(4) 高橋宏和先生	印象に残った症例 (その6) 前村 勉先生
3月14日 (第2日曜日)	特別講演 小児科医療にこそ漢方を -小児神経疾患も含めて- (仮) 川嶋浩一郎先生	ワークショップ 山本巖先生の臨床を語る 坂東正造先生、松原圭沙 彦先生、中島正光先生	履修証書 授与式

※会場、開催方法は別途案内いたします。
都合時より、講師、演題を変更する場合があります。
太枠12コマは録画を京都薬科大学・生涯教育センターのeラーニングで配信(予定)。
対面での参加者は日本薬剤師センターの研修単位が取得できます(予定)。